事務事業ID

事務事業マネジメントシート 平成 23 年度

	0990	=0 3.3% 3.5% (1.5.5)		'	平风 4	23 年	11	月 3	) H	作成
事務事業名 三陸小中学校給食共同調理場運営事業				実施計画登載事業		□ 合併建設計画登載事業				
政	政策名	・・・・・文化の香り高い生涯学習の町づくり		事業期間		会計	款	·算科  項	目目	事業
策体系	施策名	・・・・学校教育の充実		単年度のみ						
	基本事業名	0:4:心豊かでたくましく生きる人間の育成	~	単年度繰返 (開始 昭和45	年度~)					
戶層		学校給食法       教育委員会     学校教育課       越喜来共同調理場     電話       44-2040	1	期間限定複数年度 【計画期間】 年度~	年度	01	10	06	07	01
事	務事業の概要	内線   (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は		全体計画欄の総投入量 象を記述)	量を記入 全体記	<u> </u>   一   (	期間限	定複数	年度の	<b>み</b> )
(越事を) 三安哲道の業 1	喜来調理場、綾 「業費は、食材の 長託事業で扱って とな業務内容は、 全で栄養のある 理の指導、学校 は、調理師のの 話手な食材の料理 もの見学。 現状把握の部	パランスのとれたおいしい給食を提供するための、 献立の検討交に対する食に関する指導(栄養や添加物等)、 建物・施設設役の調理指導、 残飯の処理、 保護者への献立表や給食便りの大理レシビ提供)、 地元産品を使った保護者向け料理講習会、 は、 10000000000000000000000000000000000	る(調理 、調理 第の管理 青報提供	<ul><li>・運搬については、別</li><li>・関の衛生管理や健康</li><li>・要託従業員への共(地元産品や子ども</li></ul>	千円 )	事業費に規職員	従事人 務時間 計 (B)	数		0 0 0
(1) 事務事業の目的と指標										
١.,	手段(主な活動			活動指標(事務事業	業の活動量を	表す指標)				

(1) 🖁							2	·工 壬++匕 +西					
手段(主な活動)   前年度実績(前年度に行った主な活動)							,	古凱指標	(事務事業の活動量を表 名称	す指標)	単位		
前年度実績(前年度に行った主な活動) 学校給食の食材購入、光熱水費の支払い、食器洗浄・設備の点検保守・警備などの委													
子校監良の良材購入、 た然水質の支払い、 良器洗浄・設備の点検保寸・ 管備などの会託					1	ア	給食の提供	共回数		回			
今年度計画(今年度に計画している主な活動)						7	1	調理場の個	<sup>多</sup> 繕箇所数		件		
前年度と同様							ウ	給食便りの	発行回数		0		
							7	対象指標	(対象の大きさを表す指	漂)			
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等									単位				
・越喜来、綾里共同調理場 ・三陸地区の小中学校幼稚園の児童生徒園児等						7	カ	三陸地区の	D児童生徒園児の	数	人		
						7	<b>+</b> :	三陸地区の	D共同調理場の数		箇所		
	意図(この事業によって、 全で健康によいおいしい給			<b>)か</b> )			ク						
^-			-1400			7	F	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)					
						<del> </del>	<b>`</b>		名称		単位		
4	結果(基本事業の意図:	上位の	基本事業にも	どのように貢献す	<b>するのか</b> )	\	サ	給食食材に	に関するクレーム数		件		
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 心豊かでたくましく生きる。							~ / /	家庭でもハ えた子ども	ランスを考えた食薬 の割合	事をしていると答	%		
						$  \   \  $	ス						
2) ‡	総事業費・指標等の推移	3	The stee				ス						
2) ‡	総事業費・指標等の推移	7	年度単位	17年度 (実績)	18年度 (実績)	1	<b>\</b>	度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績		
2) #	□□□■□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	7	半位 千 円	17年度 (実績)	18年度 (実績)	1	<b>\</b>	度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績		
	国庫支出金財 都道府県支出金	3	千円 千円	17年度 (実績)	18年度 (実績)	1	<b>\</b>	度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (実績		
	財 国庫支出金 財 都道府県支出金 事 源 地方債 業 内 よろび	3	単位				<b>\</b>	- ()	( ,				
, lult. stills	国庫支出金 財 都道府県支出金 源 地方債 内 その他		単位 千 円 千 円 千 円	37,887	36,626		<b>\</b>	33,908	33,675	32,696	29,75		
	国庫支出金 財 都道府県支出金 源 地方債 内 その他 一般財源	7	単位 千 円 千 円 千 円 千 円	37,887 9,114	36,626 12,042		<b>\</b>	33,908 9,082	33,675 9,470	32,696 8,944	29,75 9,22		
	事業費計(A)	3	単位 千 円 千 円 千 円	37,887	36,626		<b>\</b>	33,908	33,675	32,696	29,75 9,22		
	国庫支出金 財 都道府県支出金 源 地方債 内 その他 一般財源	3	単位 千 円 千 円 千 円 千 円 千 円	37,887 9,114 47,001	36,626 12,042 48,668		<b>\</b>	33,908 9,082 42,990	33,675 9,470 43,145	32,696 8,944 41,640	29,75 9,22 38,97		
文人量	事業費 対 国庫支出金 財 都道府県支出金 源 地方債 内 その他 一般財源 事業費計 (A) 人 正規職員従事人数	3	単位	37,887 9,114 47,001	36,626 12,042 48,668 1		<b>\</b>	33,908 9,082 42,990	33,675 9,470 43,145	32,696 8,944 41,640	29,75 9,22 38,97		
	事業 費 費 での他 一般財源 事業費計(A) 人 正規職員従事人数 体 変ペ業務時間		単位 千 円 千 円 千 円 千 円 千 円 千 円 千 円 千 円 千 円	37,887 9,114 47,001 1 200	36,626 12,042 48,668 1 200		<b>\</b>	33,908 9,082 42,990 1 200	33,675 9,470 43,145 1 200	32,696 8,944 41,640 1 200	29,75 9,22 38,97 20 80		
	事業 費 費 を を で で で で で で の他 一般財源 事業費計 (A) し 正規職員従事人数 で で で で の で の で の で の で の で の も の り で の も で の も の も で の も の も の も り の も り の も り の も り も り の も り も り		単位 千 円 円 千 円 円 千 円 円 千 円 円 千 円 円 千 円 円 円 円	37,887 9,114 47,001 1 200 800	36,626 12,042 48,668 1 200 800		9年度	33,908 9,082 42,990 1 200 800	33,675 9,470 43,145 1 200 800	32,696 8,944 41,640 1 200 800	29,75 9,22 38,97 20 80 39,77		
文人量	事業 費 費 を を で で で で で で の他 一般財源 事業費計 (A) し 正規職員従事人数 で で で で の で の で の で の で の で の も の り で の も で の も の も で の も の も の も り の も り の も り の も り も り の も り も り	)	単位 千千 千 千 十 千 十 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千 千	37,887 9,114 47,001 1 200 800 47,801	36,626 12,042 48,668 1 200 800 49,468		9年度	33,908 9,082 42,990 1 200 800 43,790	33,675 9,470 43,145 1 200 800 43,945	32,696 8,944 41,640 1 200 800 42,440	29,75 9,22 38,97 20 80 39,77 122,11		
文人量	事業 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神	) 7	単位 千千 千 一 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	37,887 9,114 47,001 1 200 800 47,801 150,480	36,626 12,042 48,668 1 200 800 49,468 145,440		9年度	33,908 9,082 42,990 1 200 800 43,790 143,540	33,675 9,470 43,145 1 200 800 43,945 132,970	32,696 8,944 41,640 1 200 800 42,440 125,818	29,75 9,22 38,97 20 80 39,77 122,11		
文人量	事業 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神	) 	単位 千千 千 八 門 一 一 件	37,887 9,114 47,001 1 200 800 47,801 150,480	36,626 12,042 48,668 1 200 800 49,468 145,440		9年度	33,908 9,082 42,990 1 200 800 43,790 143,540 7	33,675 9,470 43,145 1 200 800 43,945 132,970	32,696 8,944 41,640 1 200 800 42,440 125,818	29,75 9,22 38,97 20 80 39,77 122,11		
文人量	事業 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神 神	) ア イ ウ	単位 千千 千 八 門 一 一 件 回	37,887 9,114 47,001 1 200 800 47,801 150,480 7	36,626 12,042 48,668 1 200 800 49,468 145,440 7		9年度	33,908 9,082 42,990 1 200 800 43,790 143,540 7	33,675 9,470 43,145 1 200 800 43,945 132,970 7	32,696 8,944 41,640 1 200 800 42,440 125,818 7	29,75 9,22 38,97 20 80 39,77 122,11		
文人量	事業費   国庫支出金	) ア イ ウ カ	単位 千千千千千十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	37,887 9,114 47,001 1 200 800 47,801 150,480 7 12 836	36,626 12,042 48,668 1 200 800 49,468 145,440 7 12		9年度	33,908 9,082 42,990 1 200 800 43,790 143,540 7 12	33,675 9,470 43,145 1 200 800 43,945 132,970 7 12 682	32,696 8,944 41,640 1 200 800 42,440 125,818 7 12	29,75 9,22 38,97 20 80 39,77 122,11		
安人量	事業費   国庫支出金	) ア イ ウ カ キ	単位 千千千千千十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	37,887 9,114 47,001 1 200 800 47,801 150,480 7 12 836	36,626 12,042 48,668 1 200 800 49,468 145,440 7 12		9年度	33,908 9,082 42,990 1 200 800 43,790 143,540 7 12	33,675 9,470 43,145 1 200 800 43,945 132,970 7 12 682	32,696 8,944 41,640 1 200 800 42,440 125,818 7 12	29,75 9,22 38,97 20 80 39,77 122,11		
· 安入量 / イ	事業費   国庫支出金	)	単位千千千千千千千十十十十一 時千千 回件 回人 簡	37,887 9,114 47,001 1 200 800 47,801 150,480 7 12 836	36,626 12,042 48,668 1 200 800 49,468 145,440 7 12 798		9年度	33,908 9,082 42,990 1 200 800 43,790 143,540 7 12 755 2	33,675 9,470 43,145 1 200 800 43,945 132,970 7 12 682 2	32,696 8,944 41,640 1 200 800 42,440 125,818 7 12 611	22年度 (実績 29,75 9,22 38,97 20 80 39,77 122,11		

## (3) 事務事業の環境変化・住民意見等

が公平・公正になっているか?

価

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

昭和45年、牛乳給食から完全給食に移行するため共同調理場を整備したことによる。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか? 学校給食の役割は、単に児童生徒等への栄養補給から、「食」という生きた教材を通して正しい食材のあり方や好ましい人間関係の体得など、食生活やライフス タイルの変化とともに大きく変容している。児童生徒数は毎年減少している。生活習慣病のこどもも増える傾向にある。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 三陸地区には共同調理場が2箇所あるが、効率化・経費削減を前提とした見直しを求める意見が、市民・議会にある。一方、現方式の継続を求める声もある。

2 評価の部(SEE)\*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

	評価の部(SEE) * 原則は事後評	『価、ただし複数年度事業は途中評価
	政策体系との整合性	□ 見直し余地がある 【理由】 つ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ■ 結びついている 【理由】 つ
目的妥	この事務事業の目的は当市の政策体 系に結びつくか?意図することが結 果に結びついているか?	児童生徒当に対する安全でバランスの取れた給食の提供と食指導の充実は、心身の健全な成長につながる。
	公共関与の妥当性	<ul><li>□ 見直し余地がある 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li><li>☑ 妥当である 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li></ul>
妥当性評価	成する目的か?	学校給食法により、義務教育諸学校の設置者には、学校給食の実施の努力義務が課せられている。
ΊЩ	対象・意図の妥当性	□ 見直し余地がある 【理由】 3 改革·改善方向の部 (3枚目シート)に反映 □ 適切である 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 □ 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	対象を限定・追加すべきか?意図を 限定・拡充すべきか?	三陸地区の全ての児童生徒園児を対象とする共同調理場の運営事業であり、対象・意図とも妥当である。
	成果の向上余地	<ul><li>✓ 向上余地がある 【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 向上余地がない 【理由】 →</li></ul>
	成果を向上させる余地はあるか?成 果の現状水準とあるべき水準との差 異はないか?何が原因で成果向上が 期待できないのか?	バランスのとれた、かつこどもたちがおいしく食べられる献立について,給食担当者会議で検討を進めており、成果の向上は期待できる。
<b>=</b>	廃止・休止の成果への影響	<ul><li>影響無 【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li><li>▼ 影響有 【その内容】 →</li></ul>
有効性評		学校給食を提供できなくなり、食に関する指導が行えない。
価	類似事業との統廃合·連携の 可能性	一 他に手段がある 🥄 (具体的な手段,事務事業)
	目的を達成するには,この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<ul> <li>─ 統廃合・連携ができる 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li> <li>✓ 統廃合・連携ができない 【理由】 →</li> <li>学校給食は、栄養バランスのとれた食事内容、食についての指導として実施されており、他の手段とすることは困難である。</li> </ul>
		▼ 他に手段がない
	事業費の削減余地	<ul><li>▶ 削減余地がある 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li><li>▶ 削減余地がない 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li></ul>
効率	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	市内の他の施設等との統廃合を検討していく必要がある。また、従業員は財団法人職員となっているが、民間委託も併せて検討する必要がある。
性評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<ul><li>□ 削減余地がある</li><li>□ 削減余地がない</li><li>□ 削減余地がない</li><li>□ 削減余地がない</li><li>□ 削減余地がない</li></ul>
11111	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより 正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	1名の担当職員が契約事務や管理事務を処理しており、人件費の削減は難しい。
公平	受益機会·費用負担の適正 化余地	□ 見直し余地がある 【理由】 つ 3 改革·改善方向の部 (3枚目シート)に反映 □ 公平·公正である 【理由】 つ (理由】 つ (理由】 つ (世帯) など (本書) など (
· 性 評	事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担	学校給食に要する経費については、学校給食法に定められた基準に従い、人件費、施設・設備費は設置者が負担、 食材料費は保護者が負担することとされており、食材費相当分は、保護者等から給食費を徴収している。

- 2/3 -

事務事業ID 0990 事務事業名 三陸小中等	<sup>全</sup> 校給食共同調理場運営事業
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への	D反映)(PLAN)
(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 越喜来学校給食共同調理場は経年劣化が著しく、早急な施設の更新が
■ 目的妥当性 <b>▽</b> 適切 □ 見直し余地	あり 望まれるが、学校給食の拠点化事業と連動させながら検討を加えていく必要がある。
有効性 □ 適切 □ 見直し余地	150 S.
効率性 □ 適切 □ 見直し余地	<mark>கர்</mark>
公平性 ✓ 適切 □ 見直し余地	<u> </u>
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、	·
事業のやり方改善 ( マ 有効性改善 対率性改善	□ 公平性改善 (廃止・休止の場合は記入不要)
(上記方向性に対する具体的な内容) 施設・設備面では学校給食の拠点化事業と併せて早急な対応が	ン要であるが、給食の供給については現状維   別減   維持   増加
持とする。	向
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	又は特記事項等
特になし。	
	(職名) 原則として施策の主管課長
4 事務事業の2次評価結果	2次評価者 学校教育課長 学校教育課長
(1) 1次評価結果の客観性と出来具合	
記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) 記述不足でわかりにくい 一 記述不足でわかりにくい	
▼ 記述は十分なされている	
評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判 下 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の	
─ 一部に客観性を欠いたところがある	
▼ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課	
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由 適切な事務執行がなされている
■ 目的妥当性 <b>図</b> 適切 □ 見直し余地	
■ 有効性 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	<del></del>
■ 効率性 ■ <b>▽</b> 適切 ■ □ 見直し余地	!あり
公平性	<u>まあり</u>
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、	廃止・休止・現状維持は重複不可) (5) 改革・改善による期待成果
事業のやり方改善( 有効性改善 効率性改善	場合には、1次評価の結果も「 」で記入する。
(上記方向性に対する具体的な内容)	
越喜来共同調理場は、移転改築に向けて事業を進めていく。	
	<u>  上                                  </u>
	低 <sub>下</sub> × ×
5 最終評価結果 (1) 行政経営推進会議等での指摘事項	
(・/ ロルベロルとム既でしい口削ずや	

- 3/3 -